

～～第8787回～～

滝子山

～R1. 10. 27～

最近の連続した台風による登山路の状態を大月市役所に確認したところ、倒木や沢の水量が多いので注意してほしいとの事だった。往路の南陵コースを止め、ずみ沢コース往復に計画を変更して島田を6:00車2台で出発する。途中道の駅富士川と笹子駅でトイレ休憩をとる。R20から吉久保入口を左折し、大鹿林道を進むと9:20道証地蔵手前の駐車スペース(5～6台)に着いた。地元の人2名が登山路の整備作業をする為の確認に来ていた。登山路入口に設置された入山者数調査のカウンターを一人ずつ押して9:40出発する。大鹿川の木橋を渡り鬱蒼とした杉・檜の樹林帯をトラバース気味に登って行く。流れる水の音量が大きく響いている。三丈の滝下の木橋は横板が4箇所程外されていたので、下の激流を見ながら渡った。沢沿いの道は倒木が多く、道も荒れていた。沢から少し登った所で大鹿山分岐に着く。上は迂回ルート直進は難路ルート。時間も11:00になっていたので、直進ルートへ入った。右下に沢が近くを流れ、幾つかの滝も水量豊かに落ちていた。倒木もさらに多くなり、道を塞ぎ跨いだりくぐったりして進むが、暫くして岩場のロープが下がった所辺りで道が不明になった。上部には迂回ルートの道が有るので、仕方なく斜面を木につかまりながらよじ登る事になった。なんとか全員無事に登山道に戻り進むと、曲り沢峠(迂回ルート)と難路、滝子山への分岐標識があった。(シニアはシニアらしく急がば回れの精神に徹すべしと反省)何ヶ所か渡渉や丸木橋を渡り、朽ち果てた造林小屋脇を過ぎると、落葉したカラマツやブナの明るい雑木林になった。スキーのゲレンデの様な開けた防火帯を直登し、13:10大谷ヶ丸との分岐を過ぎると白縫神社の祠に着く。鎮西ヶ池は水が溢れていた。初狩駅への分岐を右折しジグザグの急坂を上がると、13:30頂上(1,615m)に着いた。山頂は狭めだが雲が無ければ眺望は良いだろう。今日は期待した秀麗富嶽も隠れていた。遅い昼食後折り返し下る。15:15曲沢峠分岐を迂回ルートへ進み、16:30薄暗くなった登山口に着いた。今回も反省すべき点が多い山行だった。

参加者：9名（島田支部）

天気：晴れ

地図：笹子

コースタイム：島田 600＝道証地蔵登山口 920-40…曲沢峠・滝子山分岐 1100…滝子山・笹子駅分岐 1205…白縫神社 1320…滝子山 1330-1415…曲沢峠分岐 1515…登山口 1630

記録：島田支部 TS

